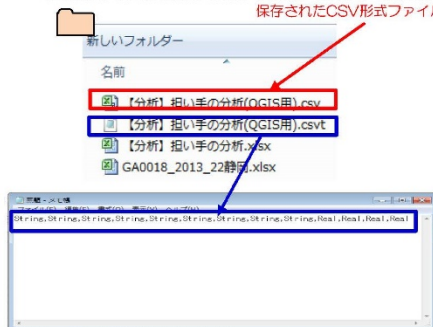


- 保存されたCSV形式ファイル



ポイント!

QGISソフトでは、CSVデータを読み込むと、数値でも文字列として読み込むため、CSVファイルの各項目が数値か文字列かを指定するためのCSV形式の設定ファイルを作成します。

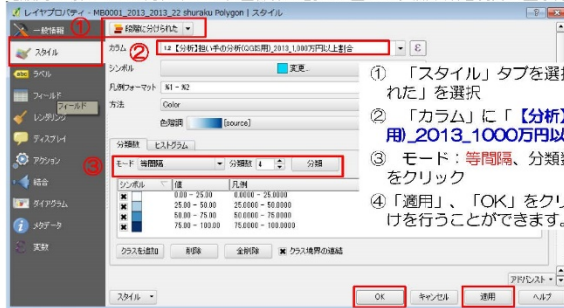
このCSVファイルと作成したCSVデータの名称は同一である必要があるため、ここで同じ名前にておきましょう。

詳しくは、「データ利用の手引Ver2.0」21ページを参照してください。

※文字列(String)9個、実数値(Real)4個の順番でデータが並んでいることを意味しています。

- ・ 事例の地図の色分けを行うには、QGISソフトのレイヤプロパティ>スタイルにより色分けのルールを指定する必要があります。事例で指定した内容を紹介します。

【販売金額が1000万円以上の経営体数の割合に基づく、漁業集落境界の塗り分け】



- ① 「スタイル」タブを選択し、「段階に分けられた」を選択
- ② 「カラム」に「【分析】担い手の分析(QGIS用)_2013_1000万円以上割合」を選択
- ③ モード：等間隔、分類数：4に設定し、分類をクリック
- ④ 「適用」、「OK」をクリックすることで塗り分けを行うことができます。

① 「スタイル」タブを選択し、「段階に分けられた」を選択

② 「カラム」に「分析 担い手の分析(QGIS用)_2013_49歳以上の割合」を選択

③ モード：等間隔、分類数：2に設定し、分類をクリック

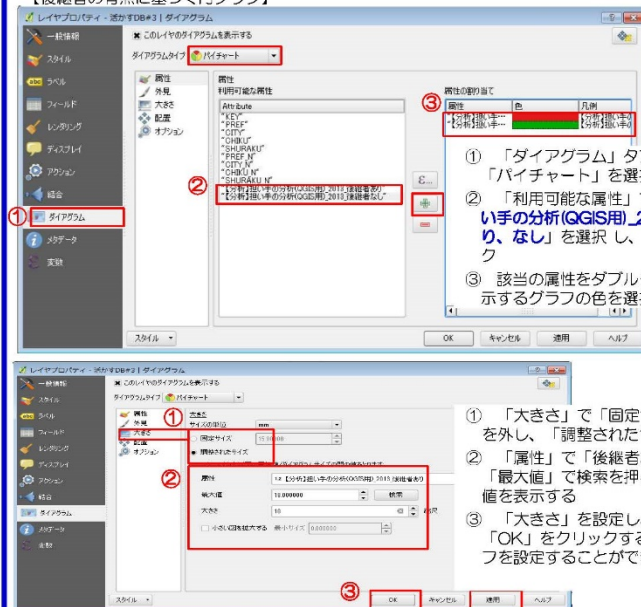
④ シンボルをダブルクリック

⑤ 塗りつぶしの色とスタイルを設定。50以上には「斜線X」、50未満には「ブラシなし」を設定します

- ① 「スタイル」タブを選択し、「段階に分けたら」を選択
- ② 「カラム」に「**【分析】抱い手の分析(QGIS用)_2013_49歳以下の割合**」を選択
- ③ モード：等間隔、分類数：2に設定し、分類をクリック
- ④ シンボルをダブルクリック
- ⑤ 塗りつぶしの色とスタイルを設定。50以上には「斜線X」、50未満には「ブラシなし」を設定します。

- ・ 事例の円グラフは、QGISソフトのレイアプロパティ>ダイアグラムから円グラフの設定を行う必要があります。

【後継者の有無に基づく円グラフ】



- ① 「ダイアグラム」タブを選択し、「パイチャート」を選択
- ② 「利用可能な属性」で「**【分析】担い手の分析(QGIS用)**」2013_後継者あり、なし」を選択し、「+」をクリック
- ③ 該当の属性をダブルクリックし、表示するグラフの色を選択

- ① 「大きさ」で「固定サイズ」の選択をなし、「調整されたサイズ」を選択
- ② 「属性」で「後継者あり」を選択。「最大値」で検索を押すとデータの最大値を表示する
- ③ 「大きさ」を設定し、「適用」、「OK」をクリックすることで円グラフを設定することができます。